

2025年 保護者等向け 児童発達支援評価表

公表日： 2025年12月15日

事業所名：運動遊びと療育支援こどもプラス新松戸教室

対象人数（保護者）17人 回答者数 12人 回収 70.6%

		チェック項目	とても満足	概ね満足	やや不満	不満	わからぬ	ご意見	教室からのコメント
満足度	1	お子様は安心感をもって通所していますか？	5	7					
	2	お子様は楽しんで通所していますか？	6	5	1			・制作が楽しいようで、作成中のものを良く話してきます。作品を持って帰る時も帰宅するならすぐに見せにきます。	始めたばかりのお友だちは行き渋りがみえることもあります、継続することで、自信がつき、楽しいを感じることも増えていきます。楽しく通うことが出来る様な遊びを考えています。
環境・体制整備	3	怪我がないように安全に配慮した空間と活動の提供がされていますか？	5	7					
	4	生活空間は、清潔で、整理整頓がされており、活動に適した空間になっていると思いますか？	6	6					
	5	お子様にとって活動のスペースは十分だと思いますか。 尚、こどもひとり当たりの活動スペースは、2.47m以上と設備基準には定められています。	6	6					
	6	職員の配置数は適切で十分だと思いますか。尚、定員10名以下の施設では、保育士または児童指導員の人員配置は2名以上と人員配置基準に定められています。	7	5					
	7	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境（※1）になっていると思いますか。 (※1 「本人にわかりやすく構造化された環境」とは、こども本人がこの部屋で何をするのかがわかりやすいよう、机や本棚の配置などを工夫することです。)	5	7					
適切な支援の提供	8	こどものことを十分に理解し、こどもの特性等に応じた専門性のある支援が受けられていると思いますか。	10	2					
	9	教室がホームページで公表している支援プログラム（※2）は、実際に提供されている支援内容と合っていると思いますか。 (※2 「支援プログラム」とは、事業所における総合的な支援の推進と事業所が提供する支援の見える化を図るために、事業所で行われている取組等について示し、公表することが求められています。)	6	6					
	10	こどものことを十分理解し、こどもや保護者のニーズや課題に沿って客観的に分析された上で、児童発達支援計画（個別支援計画）（※3）が作成されていると思いますか。 (※3 「児童発達支援計画（個別支援計画）」は、児童発達支援を利用する個々のこどもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援方針や支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的な内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のことです。これは、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の児童発達支援管理責任者が作成し、保護者等への説明を行うとともに同意を得ることが義務付けられているものです。)	8	4					
	11	児童発達支援計画に沿った内容で、支援が行われていると思いますか。	5	7					
	12	社会的な活動や外部でのイベントなど、多様な活動が提供されていますか？※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	6	4			2	・小さい子どもがいる為、なかなか参加できないですが、機会があれば参加したいと思います。	イベントでは、お子様の違う一面が見える機会にもあります。ご予定に都合がつく際には、是非ご参加ください。
保護者への説明	13	教室を利用する際に、サービスの内容と提供時間の範囲などが記載された運営規程、支援プログラム、利用者負担(費用)等について十分な説明がありましたか。	7	5					
	14	「児童発達支援計画」を示しながら、支援目標や内容の説明がありましたか。	8	4					
	15	教室では、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等※4)や家族等も参加できる研修会や情報の提供が行われていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。 (※4 「ペアレント・トレーニング」は、保護者がこどもの障害の特性やその特性を踏まえたこどもへの関わり方を学ぶことにより、こどもの行動変容することを目指します。)	5	5			2		相談支援の一貫として、お子さんにどのような対応が望ましいか、当教室での様子を踏まえアドバイスさせていただくことはございます。今後も、ご家族に有益な情報や知識を提供したいと思っています。たくさん相談ください。一緒に考えさせていただきます！
	16	日頃からお子様の状況について情報交換がされ、健康や発達の状況について共通理解ができていると思いますか。	6	6					
	17	定期的に、面談が行われたり、助言を受ける機会はありますか。	6	6					
	18	教室の職員から共感的に支援をされていると感じますか。	6	6					
	19	保護者会等の開催等により、保護者同士の交流の機会が設けられるなど、家族への支援がされていますか。※ご希望の機会・イベントなどがありましたらご意見欄にお願いします。	5	4	1		2		保護者様参加ができるイベントや保護会も定期的に行っております。詳しく活動記録をご覧ください。（過去の開催は5月）
	20	相談や苦情解決の体制があり、相談や申入れがあった際に迅速かつ適切に対応がされていると思いますか。	7	5					
	21	こどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のため、十分な配慮がなされていると思いますか。	5	7					
	22	定期的に通信やホームページ・SNS等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果をこどもや保護者に対して発信されていますか。	6	6					
非常時等の対応	23	個人情報の取扱いに十分に留意されていると思いますか。	7	4	1				個人情報の共有に関しては、必要な会議などの使用以外は共有していません。（共有する際には許可をいただいております）また、個人情報の入ったiPhoneはバスクードを使用しております。お手紙の入れ違いがあり、ご指摘をいただいたことがあります。こちらについては、以後気を付けてまいります。
	24	教室では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等が策定され、保護者に周知・説明されていますか。また、発生を想定した訓練が実施されていますか。	5	7					
	25	教室では、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出など必要な訓練が行われていますか。	4	7			1	・ビデオで見た内容を話してくれます	年に2回防災訓練を実施しています。また、防災週間では、どの曜日に来ても、防災のことを学べる1週間としておりますので、是非ご参加ください。
	26	教室より、こどもの安全を確保するための計画について周知される等、安全の確保が十分に行われた上で支援が行われていると思いますか。	5	7					
	27	事故や怪我などが発生した際に、教室から速やかな連絡や状況等の詳細について説明が十分にされていますか。	7	4			1		お子様が怪我をした際には速やかにご連絡を行っております。

公表

事業所における自己評価結果（児童発達支援）

事業所名 運動遊びと療育支援 こどもプラス新松戸教室

公表日 2025年12月15日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫していると思う点・改善が必要だと思われる点など
環境・体制整備	1	利用定員10名に対し、指導訓練室が40m以上確保できているか	9		
	2	利用定員や子どもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	9		
	3	生活空間は、子どもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。		9	安全が確保できるよう、運動用具等の収納場所と収納方法を検討していく。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。	6	3	手洗いが限られているので、使用場面や利用者の年齢を考慮し、常に衛生的に管理していく必要がある。
	5	必要に応じて、子どもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。		9	個別の部屋はないため、相談室を適時活用したり、衝立を用いて活動の場面に応じて環境設定を行っている。
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。	9		
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	9		
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	9		
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	6	3	定期的な対面・WEBでの研修や、外部研修受講の補助があるが、専門的な知識を深めるため、より支援に活用できる外部の研修も検討したい。
適切な支	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	9		
	12	個々の子どもに対してアセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。	9		
	13	児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、子どもの支援に関わる職員が共通理解の下で、子どもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	9		
	14	児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	9		
	15	子どもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	6	3	教室で用意した、具体的なアセスメントシートを用いて状況を把握するようにしている。また、日々の職員支援会議や当日の支援記録をもとに、分析と計画の修正を行っている。
	16	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、子どもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	9		

援 の 提 供	17 活動プログラムの立案をチームで行っているか。	9		
	18 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	9		
	19 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。	9		
	20 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	9		
	21 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	9		
	22 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	9		
	23 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	9		
	24 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、その子どもの状況をよく理解した者が参画しているか。	9		
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	25 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	9		
	26 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	4	5	他事業所との情報共有は、時間の制約もあるため、今後は更に機会を増やしていきたい。
	27 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。	9		
	28 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。	5	4	児童によつては機会があるが部分的である場合がある。多くの職員が関り、連携を強化していきたい。
	29 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他の子どもと活動する機会があるか。		9	交流は組織内（別の地域の教室）ではあるが、他法人とは行っていない。
	30 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。	9		
	31 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	1	8	家族に対しての支援プログラムは提供機会が多くはない。お伝えできる方法や知識を増やし、家族支援の機会も設けていきたい。
	32 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	9		
人	33 児童発達支援計画を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	9		
	34 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。	9		
	35 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	9		

保護者への説明等	36	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。	8	1	
	37	こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	9		
	38	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	9		
	39	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	9		
	40	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	9		
	41	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。		9	まずは落ち着ける活動環境を優先している。地域住民との関りは現状は少ない。
非常時等の対応	42	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	9		
	43	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	9		
	44	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	9		
	45	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	9		
	46	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	9		
	47	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	9		
	48	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	9		
	49	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	9		
	50	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。	9		